

「県では二十一世紀に向けて、全国に先駆けて、緑の三倍増計画を策定し、緑豊かな文化の香り高い県土づくりを推進しているところであり、特に本年度からは、昨年九月の熊本グリーンサミット会議で提唱されました一村一森運動を展開し、**一村一森運動に**、私たちの身近な生活空間に、手軽に触れ合えるふるさとの森を地域の方々と一緒につくっていくというところで、これまで南関町のふるさとの森をはじめ、学校等約十ヶ所で植樹を行ってまいりました。

本日この植樹祭も、一村一森運動の一つの行事として位置づけられていますが、かねて私は、そのまに緑が多いか少ないかはそのまの文化のバロメータだと申しあげているわけで、今後ともこの一村一森運動が県民運動として、大きく広がってまいりますよう皆様方の格段のご理解とご協力をお願いする次第であります。」

（四月二十六日）
熊本県植樹祭知事挨拶より

「今日、我が国の農業は諸外国からの市場開放の要求とか、あるいは食料需給の不均衡であり、また、あるいはまた農業施策のあり方等々を巡りまして大変厳しい局面に立たされている訳であり、**二十世紀を担う**、私はずいぶん状況のなかであえて農業を県政発展の礎とすべく、農業を柱とした『新しい田園文化圏の創造』というところを申しあげているところであります。」

「初心忘るべからず。技術や経営感覚を養うとともに、農民の魂に磨きをかけ二十一世紀を担う農業人として大きく成長していただきますよう心から皆さん方の将来に期待をいたしまして告辞にかえさせていただきます。」

（四月十四日）
県立農業大学校入学式知事挨拶より



※県立農業大学校
昭和五十三年開校。
同校を卒業して
農業を始めた生徒の数
（就農者数）は
昭和五十七年以來
連続して日本一。
また、県内新規就農者の
二十%以上が
同校卒業生となっております。



熊本県植樹祭での記念植樹

地域オンラインサービス開始

全国各地の地域づくりの情報がひと目でわかる情報オンラインサービスが、(財)地域活性化センターと熊本県の間で、四月十六日に開始しました。地方自治体としては全国で始めて。今後、まちづくり、特産品、観光資源などの情報を県庁一階にある「熊本情報プラザ」が窓口となり、県民に提供いたします。



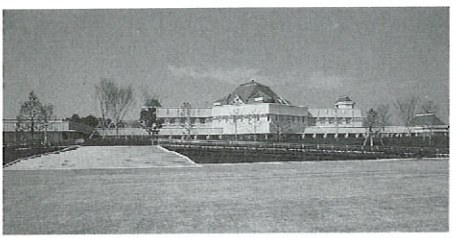
※熊本情報プラザ
情報公開条例施行にもない今年一月県庁舎一階に、情報公開の総合窓口としてオープン。公文書開示請求の受付窓口になることも、県政情報、自然、環境、観光、イベント、教育、文化、地域づくり等県民生活全般に関する幅広い情報をそろえています。

テクノリサーチパークへの進出 企業第一号事業開始

テクノリサーチパークへの進出企業のトップを切って、「NJK熊本システムセンター」が四月十九日に細川知事らを迎え竣工式を行い、翌二十日から業務を開始しました。同センターは、ソフトウェア開発企業「懶エスジェーケー」の九州における開発拠点となります。

テクノリサーチパーク

テクノポリス計画の一環として、県が熊本空港近くに建設を進めている研究所公園。先端技術産業の研究開発企業やソフトウェア企業等を対象に、昨年四月から用地分譲を開始。ここには既に、熊本テクノの研究拠点「電子応用機械技術研究所」、推進拠点「テクノポリスセンター」が稼働し、さらに本年度は熊本大学の「地域共同研究センター」も建設が予定されるなど、名実ともに、産・学・官の協力体制が整うこととなります。



県産品、全国ダイエー店で販売

県は、スーパーの最大手ダイエーとタイアップし、県産品の中から優れたものを逐次全国百七十のダイエーグループ流通経路に乗せて販売することを決めました。「メイド・イン・クマモト」の産品を、きちんとした流通マーケットに乗せ、熊本ブランドの商品イメージを定着させようというものです。



秘境ルート林道 椎葉—五家荘線 開通

九州山地の秘境「平家の里」として知られる八代郡泉村と宮崎県東臼杵郡椎葉村を結ぶ林道椎葉—五家荘線が完成。五月九日に両県知事らが出席し、県境で開通式が行われました。「秘境ルート」と命名されたこの林道、今後の両地域の林業振興と同時に観光開発にも大いに期待がもたれます。

